

10. 霊の結ぶ実は節制

1. 自己制御 (Self-control) が9番目の御霊の実です。ガラ 9:22-23 の一覧表の最後です。英文の聖書イメージ辞典の「自己抑制」では、人間の自制は、聖書の神からの贈り物である、と述べています。そして、自分を抑えることの・できない・人が、罪人である人間本来の性質であると言っています。(BID 772b_4)

2. モーセは「宿営に近づくと、彼は若い雄牛の像と踊りを見た。」(出 32:19、新共同訳)そこに、モーセが目の前にした、踊りは、偶像礼拝の儀式的なかの典型的な(てんけい、その本質や特徴をあらわす)踊りでした。それは、はるかに遠くへロデヤの娘が踊った踊りにつながる、あの性的な踊りでした。エジプト、バビロン、ギリシア、ローマの文化のものでした。「たまたまへロデの誕生祝いがあって、へロデヤの娘がみなの前で踊りを踊ってへロデを喜ばせた。」(マタ 14:6、新改訳)人々は、歌と踊りと、どんちゃん騒ぎの興奮の最中(さなか)でした。「人々は、裸体でした。」(出 32:25、英語聖書、欽定訳)

3. 「モーセが見た。人々が・完全に・自己制御を失っていて、それをアロンが許していたのだ。それはまた、敵の物笑いの種となった。」(出 32:25、英語聖書、新リヴィング訳)人々は興奮して、叫んで踊っていた。エジプトの偶像礼拝者たちの、礼拝とお祭りの・まね・をしていました。聖書の神の・うやうやしい礼拝とは全く違う・どんちゃん騒ぎに、モーセは圧倒されてしまいました。じつは、そのためにこそ、聖所を人間が必要としたのです。

4. さきの「民数記」研究で、あの有名な偽預言者バラムをよく知る機会が与えられました。かれは、貪欲な呪い師(まじない・し)でした。確かに、王たちに雇われて、イスラエルを呪うことには失敗しました。聖書の神が、偶像礼拝者たちの神々に・まさる・上位の神であったから。そこで、バラムはイスラエルを攻撃するために、神ご自身ではなく、神の民という、人間を攻撃することにしました。

バラムは戦術を変えてきました。それは、第2の「雄牛と踊り」作戦です。(民 25:1-4)それは、人間がふつうに弱さをあらわす、酒池肉林(しゅちにくりん、中国、「史記」の故事。酒は池のように、美しい女性のからだは、林のように沢山ある)さながらでした。そして、宗教の儀式そのものが、売春行為でした。それが「慕う」という言葉の内容でした。さらに詳しくは同じ(applebible@freeml.co. のno.4 と no.6 をご覧ください。前期の教師版の第11・12課です。)

民数記 25章では、あるミディアン人の女性破壊工員たちによって、神の民の、契約の主にたいする背信行為が見事に勝ち取られました。その背後には、占い師バラムの知恵がありました。「かれら(女性たち)は、バラムの助言に従った人々である。そして私たちの民を、バアル・ペオルの神を礼拝するように招待した。」(民 31:16、英語聖書・現代英語訳、米国聖書協会)

5. バラムの道にしたがう、偽教師への警告(2ペテ 2:15)を述べる前に、ペテロは・つぎのように・クリスチャンをあらゆる悪から守る方、主イエスについて語ります。:「2ペテ 1:3 主イエスは、御自分の持つ神の力によって、命と信心とにかかわるすべてのものを、わたしたちに与えてくださいました。それは、わたしたちを御自身の栄光と力ある業とで召し出してくださいました方を認識させることによるのです。1:4 この栄光と力ある業とによって、わたしたちは尊くすばらしい約束を与えられています。それは、あなたがたがこれらによって、情欲に染まったこの世の退廃を免れ、神の本性にあずからせていただくようになるためです。(新共同訳)

「認識する」(にんしき、はっきりと分かる)。;ほかの日本語訳では「知る」です。神を知ることについては、私たちは、すぐにアブラハムの信仰に思い当たります。受肉以前のキリストが言われました。「あなたが神を畏れる者である・ことが、今、わたしには分かった。」そして主は言われた。「わたしが彼を知ったのは、・・・主の道を守り、主に従って正義を行うこと。」(創 22:12, 18:19、英語聖書、新欽定訳)